

2019年度（2020年 3月 31日現在）貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預貯金	4,229	保険契約準備金	3,022
現金	0	支払備金	781
預貯金	4,229	責任準備金	2,240
有形固定資産	29	その他負債	286
建物	14	未払法人税等	24
その他の有形固定資産	14	預り金	1
無形固定資産	327	未払金	253
ソフトウェア	327	仮受金	7
その他資産	1,423	賞与引当金	28
未収保険料	16		
代理店貸	190	負債の部 合計	3,337
未収金	853	(純資産の部)	
未収収益	0	資本金	2,806
預託金	291	資本剰余金	2,700
仮払金	27	資本準備金	2,700
その他の資産	43	利益剰余金	△ 2,719
繰延税金資産	115	その他利益剰余金	△ 2,719
		繰越利益剰余金	△ 2,719
		純資産の部 合計	2,787
資産の部 合計	6,124	負債及び純資産の部 合計	6,124

(貸借対照表関係)

- 有形固定資産の減価償却の方法は、定率法により行っております。
- 無形固定資産の減価償却の方法は、定額法により行っております。なお、自社利用のソフトウェアは、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。
- 貸倒引当金は、債権の貸倒れによる損失に備えるため、資産の自己査定基準及び償却・引当基準に基づき、計上することとしております。
なお、全ての債権は資産の自己査定基準に基づき、当該資産を所管する部門が資産査定を実施し、当該部門から独立した内部監査部が査定結果を監査しております。
この結果、当期において貸倒引当金の計上はありません。
- 賞与引当金は、従業員の賞与の支給に充てるため、支給見込額を基準に計上しております。
- 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。ただし、損害調査費、営業費及び一般管理費等の費用は税込方式によっております。
なお、資産に係る控除対象外消費税等は仮払金に計上し、5年間で均等償却しております。
- 当社は、株式会社T&Dホールディングスを連結納税親会社として、連結納税制度を適用しております。
- 金融商品の状況及び時価等に関する事項は、次のとおりであります。

(1) 当社は、資金運用については短期的な預金に限定し、運用を行っております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

当期末における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
① 現金及び預貯金	4,229	4,229	-
② 未収金	853	853	-

(注) 金融商品の時価の算定方法に関する事項

①現金及び預貯金

時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

②未収金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

- 有形固定資産の減価償却累計額は、31百万円であります。
- 関係会社に対する金銭債権の総額は、182百万円であります。
- 繰延税金資産の総額は、179百万円であります。
また、繰延税金資産から評価性引当額として控除した額は64百万円であります。
繰延税金資産の主な発生原因別の内訳は、責任準備金110百万円であります。

11. 支払備金の内訳は、次のとおりであります。

支払備金（出再支払備金控除前）	781百万円
同上にかかる出再支払備金	-百万円
差引	781百万円

12. 責任準備金の内訳は、次のとおりであります。

普通責任準備金（出再責任準備金控除前）	1,843百万円
同上にかかる出再責任準備金	-百万円
差引（イ）	1,843百万円
その他の責任準備金（ロ）	397百万円
計（イ+ロ）	2,240百万円

- 1株当たりの純資産額は1,744円76銭であります。
- 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2019年度 [2019年 4月 1日 から
2020年 3月 31日 まで] 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益	5,798
保険引受収益	5,798
正味収入保険料	5,798
資産運用収益	0
利息及び配当金収入	0
その他経常収益	-
経常費用	6,194
保険引受費用	4,640
正味支払保険金	3,301
損害調査費	170
諸手数料及び集金費	781
支払備金繰入額	78
責任準備金繰入額	308
資産運用費用	-
営業費及び一般管理費	1,553
その他経常費用	-
経常損失(△)	△ 395
特別利益	-
特別損失	-
税引前当期純損失(△)	△ 395
法人税及び住民税	△ 158
法人税等調整額	68
法人税等合計	△ 90
当期純損失(△)	△ 305

(損益計算書関係)

1. 関係会社との取引による費用の総額は、113百万円であります。

2. (1) 正味収入保険料の内訳は、次のとおりであります。

収入保険料	5,798 百万円
支払再保険料	- 百万円
差 引	5,798 百万円

(2) 正味支払保険金の内訳は、次のとおりであります。

支払保険金	3,301 百万円
回収再保険金	- 百万円
差 引	3,301 百万円

(3) 諸手数料及び集金費の内訳は、次のとおりであります。

支払諸手数料及び集金費	781 百万円
出再保険手数料	- 百万円
差 引	781 百万円

(4) 支払備金繰入額(△は支払備金戻入額)の内訳は、次のとおりであります。

支払備金繰入額(出再支払備金控除前)	78 百万円
同上にかかる出再支払備金繰入額	- 百万円
差 引	78 百万円

(5) 責任準備金繰入額(△は責任準備金戻入額)の内訳は、次のとおりであります。

普通責任準備金繰入額(出再責任準備金控除前)	525 百万円
同上にかかる出再責任準備金繰入額	- 百万円
差 引(イ)	525 百万円
その他の責任準備金繰入額(ロ)	△216 百万円
計(イ+ロ)	308 百万円

(6) 利息及び配当金収入の内訳は、次のとおりであります。

預貯金利息	0 百万円
-------	-------

3. 1株当たりの当期純損失の額は191円30銭であります。

4. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

2019年度 $\left[\begin{array}{l} 2019年 4月 1日 から \\ 2020年 3月 31日 まで \end{array} \right]$

(単位：百万円)

	株主資本						評価・換算差額等			新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証 券評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益			土地 再評価 差額金
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	利益準 備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金							
当期首残高	2,806	2,700			△ 2,413		3,092					3,092
当期変動額												
新株の発行												
剰余金の配当												
当期純利益					△ 305		△ 305					△ 305
自己株式の処分												
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）												
当期変動額合計	-	-			△ 305		△ 305					△ 305
当期末残高	2,806	2,700			△ 2,719		2,787					2,787

(株主資本等変動計算書関係)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位：千株)

	当期首 株式数	当期増加 株式数	当期減少 株式数	当期末 株式数
発行済株式 普通株式	1,597	-	-	1,597

2. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。